

施設・地域における障害者虐待防止リスト

体制整備チェックリスト はい/できている・・・○ いいえ/できていない・・・× 該当事象がない・・・

	佐川	B	C	D	
規定、マニュアルやチェックシート等の整備					改善の方向性
1 倫理綱領、行動規範等を定めている	○	○	○	○	
2 倫理綱領、行動規範等について職員への周知徹底ができています	○	○	○	○	
3 虐待防止マニュアルやチェックシート等を作成している	○	○	○	○	
4 虐待防止マニュアルやチェックシート等について職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	○	○	○	
5 緊急やむを得ない場合の身体拘束等の手続き、方法を明確に定め、職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	○	○	○	
6 身体拘束について検討する場を定期的に設けている	○	○	○	○	
7 緊急やむを得ない場合の身体拘束等について、利用者（家族）に説明を行い、事前に同意を得ている。	○	○	○	○	利用契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。
8 個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。	○	○	○	○	計画作成にかかわる研修を行ったり、支援の質の向上のための勉強会を行っている。
9 個別支援計画作成会議は、利用者の参加を得て実施している。	○	○	○	○	ここでの利用者とは保護者と読みかえて考える。
職員への意識啓発、研修					
10 職員に対して、虐待の防止に関する研修や学習を実施している。	○	○	○	○	定期研修を実施している。

施設・地域における障害者虐待防止リスト

体制整備チェックリスト はい/できている・・・○ いいえ/できていない・・・× 該当事象がない・・・

	佐川	B	C	D	
11 日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。	○	○	○	○	月1回の教室内勉強会、月1回の社内勉強会を実施している。
12 職員の虐待防止に関する意識、関心を高めるための掲示物などを掲示している	○	○	○	○	
13 職員チェックリストの活用を図り、職員の虐待に対する意識や日々のサービス提供などの状況把握に努めている	○	○	○	○	
14 早期発見チェックリストの利用の徹底を図るとともに、発見時の報告、対応等について明確にしている。	○	○	○	○	
外部からのチェック					
15 福祉サービス第三者評価事業を活用し、サービスの質の向上等に努めている	×	×	×	×	検討中。
16 福祉サービス第三者評価事業を一定の期間ごとに継続的に受審している	×	×	×	×	
17 虐待の防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他の施設の職員等による評価、チェックを受けている	×	×	×	×	
18 施設、事業所の事業、監査において虐待防止に関わるチェックなどを実施	○	○	○	○	
19 ボランティアの受け入れを積極的に行っている	○	○	○	○	
20 実習生の受け入れを積極的に行っている	○	○	○	○	インターンシップの受け入れや特別支援学校、専門学校保育学科の実習受け入れは積極的に行っている。
21 家族、利用希望者の訪問、見学は随時受けている	○	○	○	○	常に開かれた事業所運営を目指すためにも、今後とも積極的に受けていく。

施設・地域における障害者虐待防止リスト

体制整備チェックリスト はい/できている・・○ いいえ/できていない・・× 該当事象がない・・―

	佐川	B	C	D	
苦情、虐待事案への対応等の体制の整備					
22 虐待防止に関する責任者を定めている	○	○	○	○	
23 虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している	○	○	○	×	
24 苦情相談窓口を設置し、利用者にわかりやすく案内するとともに、苦情解決責任者を規定等に定め、利用者からの苦情の解決に努めている	○	○	○	○	
25 苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者に案内をしている	○	○	○	○	
26 職員が支援などに関する悩みを相談することができる相談体制を備えている	○	○	○	○	
27 施設内での虐待事案の発生時の対応方法を具体的に文章化している	○	○	○	○	
28 施設内での虐待事案の発生した場合の再発防止策を具体的に文章化している	○	○	○	○	ヒヤリハットをはじめ報告文章の作成・管理はできているが、虐待事案発生時も同様の管理を行う。
その他					
29 施設において利用者の金銭および貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとになされている	○	○	○	○	
30 施設は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている	○	○	○	○	
31 施設経営者、管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている	○	○	○	○	
32 施設経営者、管理者は施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている	○	○	○	○	
33 利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている	×	×	×	×	

	佐川	B	C	D	
34	希望や必要に応じて成年後見制度の活用等について利用者、家族に説明を行っている。	×	×	×	×
35	利用者・家族、一般市民やオンブズマンなどからの情報開示にいつでも応じられる準備をしている。	○	○	○	○
36	虐待の防止や権利擁護について利用者・家族、関係機関との意見交換の場を設けている	○	○	○	○
					保護者向けセミナー等の活用を検討する。